


自主防災活動を通じた リスクガバナンスの高度化に関する研究 — 愛知県における実証実験の取り組み —

○須永洋平、岡田真也、臼田裕一郎、
長坂俊成、田口仁、坪川博彰、佐藤隆雄

 **NIED** (独)防災科学技術研究所
災害リスク情報プラットフォームプロジェクト

はじめに

■ 本発表の概要

背景

地域の防災力を高めるためには、地域の様々な主体の協働関係が不可欠で、リスクガバナンスの高度化が必要である。

取組

リスクガバナンス高度化に必要なリスクコミュニケーション手法とその手法を支えるシステムを開発し、日本各地で実証実験中。

目的

コンセプト、リスクコミュニケーション手法、システム、そして愛知県内で取り組んでいる実践事例を紹介し、リスクガバナンスの観点からの知見を報告する。

2. 実証実験の概要

2-1. コンセプト

■ リスクガバナンスとは

多様な主体の社会的な相互作用（災害リスク情報に基づくリスクコミュニケーション）と社会ネットワークの形成による協働を通じて、災害リスクを協治すること(長坂・池田2008)

■ 災害リスクガバナンスを実現するための3要件

災害リスク情報の多元性（専門知、経験知、地域知）と横断的共有

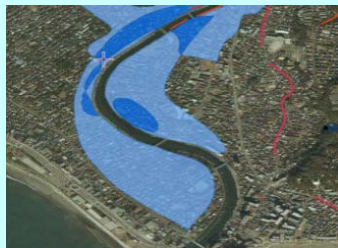
多様な利害関係者による熟慮ある対話と討議に基づく社会的
意思決定

社会関係や私的インセンティブを活用した、社会の多様な組織
や個人による水平的かつ非制度的な協働の仕組みの構築

2-2. リスクコミュニケーション手法

① 防災マップを作る

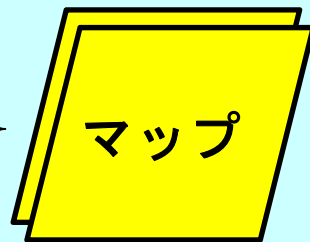
ハザードマップ



まちあるき



危険
資源
行動



② 防災ドラマを作る

シナリオづくり



ラジオドラマで放映したり・・・

③ 訓練を行う



2-3. システム

eコミ2.0

地域を構成する**様々な主体が協働で地域を経営**していくことを目的とした、**地域情報活用基盤Webシステム**。

eコミマップ

各主体が発信して**地理空間情報を引き出し**、その上で**地域住民が情報を追加**することが可能な**Webマッピングシステム**。

簡易被害想定

地域内で起こりうる被害を容易にイメージできるように、**被害の程度を明確化**するためのシステム。

防災力評価システム

地域のガバナンス構造を可視化することで、各主体の連携状況を把握、**必要な連携作りを促進**するシステム。

発表部分

(3) 臼田

① 防災マップ

ハザードマップ



まちあるき

eコミマップ

(4) 坪川

② 防災ドラマ

シナリオづくり



eコミ2.0

(6) 長坂

(5) 三浦

③ 訓練



(2) 田口

簡易被害想定

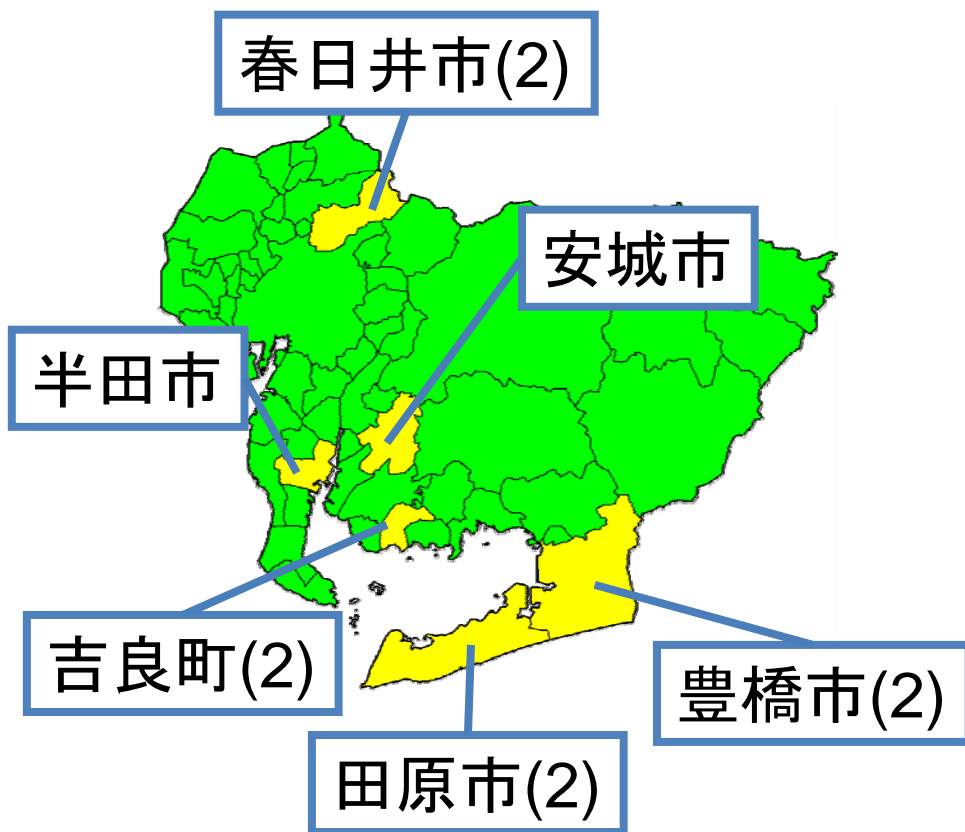
防災力評価

3. 愛知県での取り組み概要

3-1. 実証実験実施地域

■ 本年度から愛知県内6市町村10地域で実施

◆ 東海・東南海地震、台風、住民の関心高、GIS整備済み

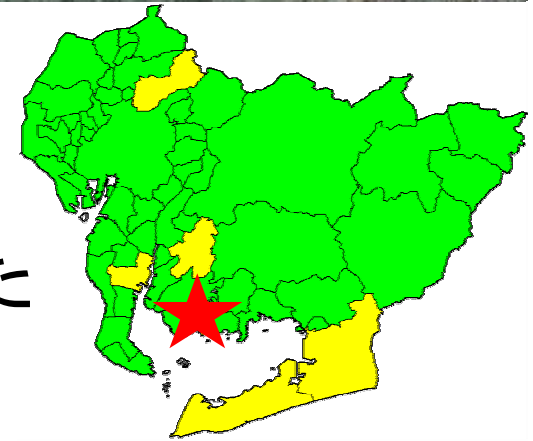


種類	実施地域・主体
マップ	<ul style="list-style-type: none"> ・春日井市ネオポリス ・半田市亀崎 ・吉良町おやじの会 ・豊橋市八町校区 ・豊橋市弥生町 ・田原市野田校区 ・田原市清田校区
シナリオ・ドラマ	<ul style="list-style-type: none"> ・春日井市中央台 ・吉良町赤馬
訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・安城市高棚町

3-2. 防災マップづくり事例(おやじの会)

■ 吉良町吉田小学校おやじの会

- ◆ 吉良町: 6864世帯、22,875人、35.98km²
- ◆ 防災リーダー研修会修了生を中心とした組織「**防災サポート赤馬**」が今年設立。
- ◆ おやじの会は、吉良町立**吉田小学校**(生徒数345人)に通う**児童の父親の会**。
- ◆ おやじの会主催の「学校で泊まろう2009」にて、防災マップづくりを実施。



項目	概要	
日時	まちあるき	8/22(土) 13:00~15:00
	PC入力	8/23(日) 8:30~11:00
参加者	おやじ: 約40名	小学生: 約60名

3-2. 防災マップづくり事例(おやじの会)

■ まちあるき



- ◆ 10グループに分かれて**防災資源**と**危険個所**を探索。
- ◆ 携帯電話で**写真**を撮影、**位置情報**と一緒に**eコマップ**へデータを送信した。

3-2. 防災マップづくり事例(おやじの会)

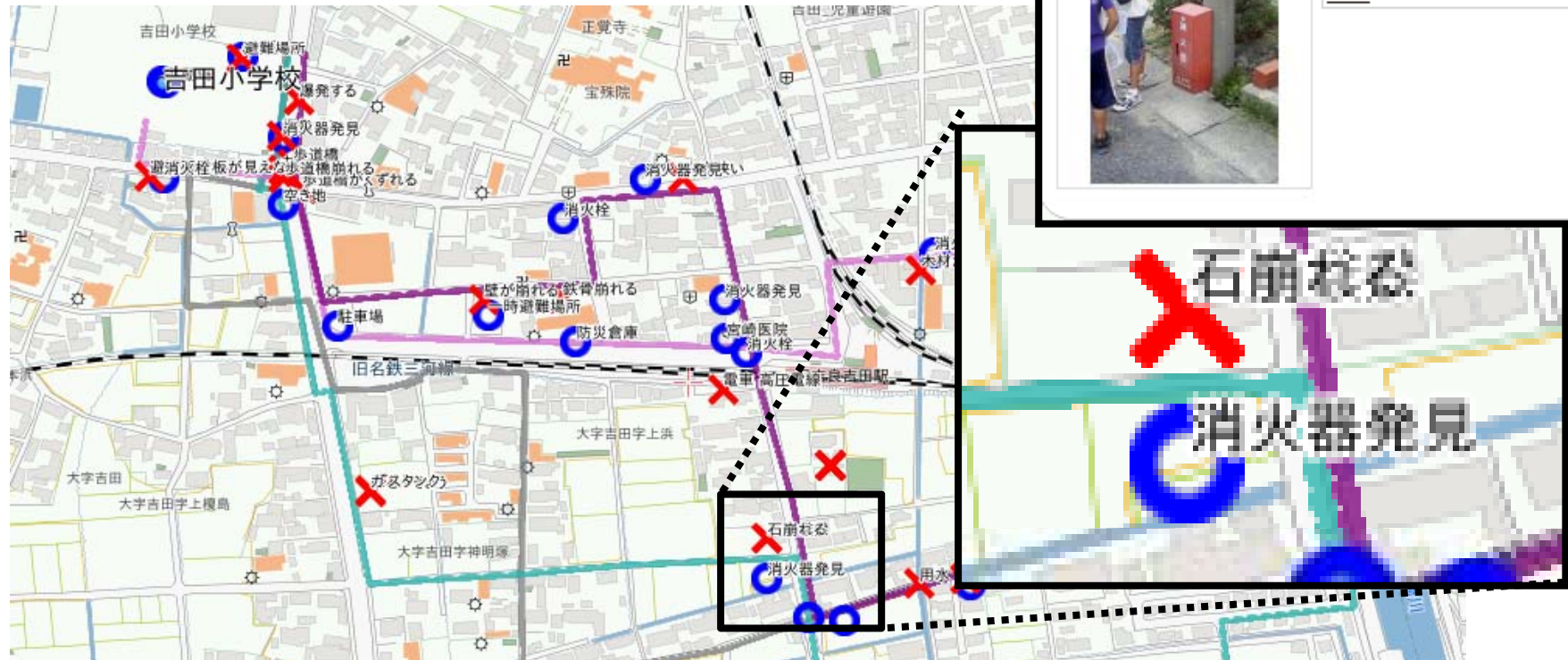
■ PC入力



- ◆ 小学校のパソコンルームでeコミマップを操作し、写真以外のデータを入力、マップを印刷した。

3-2. 防災マップづくり事例(おやじの会)

■ 作成された防災マップ



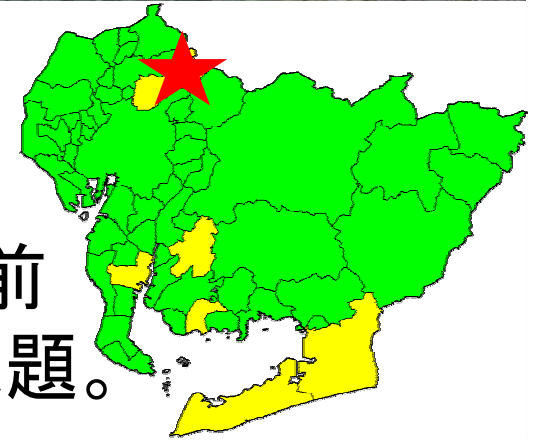
■ インタビュー結果

- ブロック塀を生垣に変えるなど、**行政**に提案したい。
(特に重点的に変えてほしい場所を特定したい)
- **防災サポート赤馬**との連携を取りたい。

3-3. 防災シナリオづくり事例(中央台)

■ 春日井市中央台自主防連合会

- ◆ 中央台:5123人、約0.85km²。
- ◆ **名古屋のベッドタウン**として、30年以上前から開発されており、**現在、高齢化**が課題。
- ◆ 一戸建てと集合住宅の混成地域。
- ◆ 町内会と自治会があり、両者を包括した組織として、**中央台コミュニティークラブ(CCC)**が近年設立された。
- ◆ 中央台自主防災会連合会は**CCCの一組織**で、地域内にある**13の自主防災会の連合体**。



項目

概要

日時

9月27日 13:00~16:30

参加者

自主防、町内会、自治会、社協、PTA、老人会など43名

3-3. 防災シナリオづくり事例(中央台)

■ 被害の想定

◆ 東海・東南海地震が11月平日、午前11時に発生、6弱。

被害項目		被害状況	被害項目		被害状況
人	死者	若干	ライフライン	電気	停電(3日後復旧)
	要救出者	10~20名		ガス	遮断(3日後復旧)
	重傷者	若干		水道	断水(7日後復旧)
	軽傷者	50名		電話	非常につながらり難い
建物	全壊/半壊	若干		携帯	非常につながらり難い
	一部損壊	屋根やドアなどが損傷		鉄道	運転見合わせ 普及見込みは不明
	出火件数	若干		道路	名古屋方面からの 道路は寸断。
	エレベータ	使用不可			

- ▶ 中央台よりも被害が大きい地域が沢山ある。
- ▶ 自分たちの力で対処しなくてはならない。

3-3. 防災シナリオづくり事例(中央台)

■ ロールプレイによる震災対策シナリオづくり

場面	防災会長	避難誘導班	住民	民生委員	先生
安否確認	○	○	○	○	
負傷者の救出	○		○		
小学校との協力	○		○		○

※行政職員は被害の大きい市南西部へ人手を回していると想定し、役割を設けなかった



3-3. 防災シナリオづくり事例(中央台)

■ 個人・家庭・地域で解決する課題の洗い出し



◆ 個人・家庭

- 家具を固定する
- 家族との連絡方法
- 隣近所付き合い
- 事前に家族で話し合う

◆ 地域

- 地域危険箇所チェック
- 人材リスト・要援護者リスト作成
- 学校などと防災協定
- ご高齢の方への支援

▶ 現在、課題解決に向けた対話を実施するために、連合会が準備中。(学校などへ呼びかけ)

4. まとめ

- 災害リスクガバナンスの高度化に向けた取り組みについて、コンセプト、リスクコミュニケーション手法、システムを概説し、愛知県内2事例を紹介した。
- 愛知県内2事例では、本手法の取り組みを実施することによって、**ガバナンス変容の必要性を地域住民が認知し、変容に向けた取り組みが進んでいる**。本手法がガバナンス変容の**契機**となっている。
- 2事例では、どのようにガバナンスが変容していくのか、追加調査をするとともに、残りの8事例についても精力的に進めていきたい。

発表部分

(3) 臼田

① 防災マップ

ハザードマップ



まちあるき

eコミマップ

(4) 坪川

② 防災ドラマ

シナリオづくり



eコミ2.0

(6) 長坂

(5) 三浦

③ 訓練



(2) 田口

簡易被害想定

防災力評価